

十戒シリーズ: 第二戒

“偶像を造ってはならない”

「神様だけを礼拝する」

出エジプト記 20:4～6

2017.03.12 HKJCF

1

概観

十戒の第二戒を通して、偶像の存在は、神様と人間の関係にどのような影響を及ぼしてしまうのかを学ぶことにより、神様に対する正しい礼拝を確立していきたい。

アウトライン

1. 神様の存在を引き下げない V4
2. 神様との関係を壊さない V5
3. 神様の恵みを逃さない V6
4. 適用: 神様の姿: イエス様だけを礼拝する

2

1. 神様の存在を引き下げない V4

- 1) 自分のために: 自己都合で持ち運ぶような物として扱ってはならない。自分の欲望や要求を満たすための存在ではない。
- 2) 偶像: 金の子牛事件(出エジプト 32:1-6)。40日間も経過していない。目に見える神、異教の神の誘惑。現代では、富み、名誉、仕事、家族など。X>神様なら、心が満たされない。
- 3) 天、地、水の中: 創造主>被造物。
- 4) 造ってはならない: 想像で表現できるお方ではない; 人間の傲慢さ(出エジプト 20:22-23)。

2. 神様との関係を壊さない V5

- 1) 拝んではならない: 礼拝が一番大事な奉仕(ローマ 12:1)。自分の全存在を捧げる。
- 2) 仕えてはならない: 尽くす、働く。神様のために何かができることはない。偶像と人格的な関係が築けない。神様>偶像。
- 3) ねたむ神: 独占的な、排他的な結婚関係。人間らしくなれる、生き生きとして輝いていく。
- 4) 報いる神: 正しく裁くお方(申命記 24:16)。共同体の影響がある。親の信仰が子孫に受け継がれていく。

4

3. 神様の恵みを逃さない V6

- 1) わたしを愛し: 愛の関係を築くことが大事。**敬拝**: 神様を高くする心「敬」と、自分を低く表現する「拝」という意味。
- 2) 命令を守る: 祭司と聖なる国民(出エジプト 19:5-6)。祈り、聖い生活を生きる。行動で愛を示し、御言葉に聞き従うこと。
- 3) 恵み: Hesed; 神様の契約的な、真実な愛。裏切らない、見捨てない愛。
- 4) 千代にまで施す: 裁きより長く続く。千代: 30000年; 非常に長い期間祝福される。

5

4. 適用: 神様の姿: イエス様だけを礼拝する

- 1) 受肉された神: 父のみもとから来られ、姿を表してくださった(ヨハネ 1:14)。
- 2) 見えない神のかたち: 万物は御子によって、御子のために造られた(コロサイ 1:15-17)。イエス様のために生きることが祝福の秘訣。
- 3) 十字架の神: 罪人のために、愛を十字架で明らかにしてくださった(ローマ 5:8)。
- 4) 友と呼んでくださる神: しもべのように支配されるのではなく、父のみもとへ連れて下さる兄貴、良い友、救い主(ヨハネ 15:13-15)。

6